

歯列・咬合についてのお知らせ

～歯ならびや咬み合わせの重要性について～



歯列・咬合とは



歯並びやかみ合わせのことです。「食べる」「話す」「体のバランス」機能に関わり、生活の質全体に関係します。

不正咬合の影響

噛む・話す・呼吸・体のバランスなどの発達に影響がみられる場合があります、学校での学習にも影響が出る場合があります。

主な不正咬合

外科的処置を行う場合や歯科矯正治療が必要となることがあります。

反対咬合・上顎前突



- ・上下の前歯のかみ合わせが前後逆になる「反対咬合」、上の前歯が前方に出ている「上顎前突」は、成長発育不全を起こしやすくなります。
- ・発育の状況により、歯周病やむし歯のみでなく、嚥下（飲み込み）の時に舌を突き出す癖や口呼吸に関連することもあります。

開咬



- ・かみ合わせたときに前歯に上下の隙間ができる「開咬」の場合は発音（構音）に問題がおき、サ行やタ行が発音しにくいなどの障害が起こる場合があります。
- ・原因が指しゃぶりなどの癖の場合、癖の中止や早い時点でくちびるの訓練を行うことにより、改善がみられる場合があります。

歯数異常

歯数異常の原因は、歯が生まれつき足りない「先天性欠損」、通常より多く歯ができる「過剰歯」などがあります。

画像出典：日本学校歯科医会ホームページ

矯正相談及び治療は原則自費診療ですが、一部保険適用となる場合があります。相談のみでも費用がかかることがありますので、受診前に各医療機関へお電話で御確認ください。